

お悩み相談

使用者委員 柳田由美

年に1回必ず従業員との面談を実施しています

前年度の目標に対しての達成度を本人から聞き、そして何が足りなかったのか、次に何を挑戦するかなど、仕事につながる面談を本来の目標にしています

しかし、私の面談はいつの間にかお悩み相談に代わってしまいます

まずは日常の世間話から、そしてお互いリラックスして話しやすい状態にする、これは得意とするところですが、それからが私のダメな点なのです

仕事の達成云々前に個人的なお悩み相談になってしまうのです

パターン①

最近 仕事に集中できないです→どうしてなのかわかる？→実はプライベートで悩みが→差し支えなければ聞くよ

この後は泣きながら、人生論に至り、仕事の話どころではなくなり、最後は元気出してね、いつでも話を聞くよと1時間

パターン②

仕事をしながら気づいた点があってお話ししたい→ぜひ聞かせて→仕事の中で自分が本当に好きなものを見つけました、学校に行こうと思うので〇月で退職させてください

これは私が泣きたくなるパターンの典型

え〜〜いい感じに育ってくれて会社にとって重要な存在でこれから一緒に頑張ってもらいたかったのに〜（泣）

面談される側の立場は様々です

結婚を考え始めた婚活中のスタッフ、育児休暇を経て復職し子育てをしながら仕事をする時短勤務スタッフ、親の介護がはじまったスタッフ、仕事をしながら色々なプライベートの面で悩みは尽きないようです

その状況がわかっているからつい話し込んでしまいます

そういうわけで私は面談が苦手です

面談でともに正解を探りながら見つけていきたいと感じれば感じるほど自分が思う方向には進めていくことができないのです

毎年、面談に時期には、前年の反省点を踏まえ、従業員も私も、今年も頑張るぞ！という気持ちになれるような面談を目指してイメージトレーニングをします

あまり熱くならないようにできる限り冷静に静かに進めたいとイメージします

私の目標は上手に話を聞いて何か次への力が湧いてくるような、そんな面談

今年もその季節がそろそろやってきます